



広報 ざいだん

2018年(H30)11月 No.12

公益財団法人 茄子川地域振興財団 中津川市茄子川1317-4 TEL0573-68-5655

「ごあいさつ」

山々が鮮やかな紅葉に彩られ、さわやかな季節となりました。

今年は、7月の豪雨災害、猛暑の夏、大型台風の上陸、北海道胆振東部地震と大きな自然災害に見舞われた日本列島でした。

幸いにも、この地域は大きな被害からは免れました。里山を守っていく財団として、自然に対して謙虚に向かい合い、木を育て、自然災害に強い森をつくっていくことが大事であることを深く考えさせられました。

紅葉の美しいさわやかな11月10日に第6回目となる【健康づくりウォーキング大会】を源根のもりで開催し、約100名が参加され、保古山直下の第2展望台からの眺めは坂本全域を一望出来、今後、リニア建設事業で大きく変わっていくふるさとの風景を見ていただきました。

ウォーキングコースは、木々の根本にまで陽の光が入り、木々の間を風がとおり抜けるコースとなっております。

11月14日には、坂本小学校4年生が【源根のもり研修】を行い、昔からの農業用水の確保のための苦労と急峻な山からの土砂災害の予防を研修し、第2展望台からの地域全域の絶景を見てウォーキングを楽しみました。

この第2展望台は今年度中に中津川市により整備されます。皆様も【源根のもりウォーキングコース】をじっくり味わって下さい。



財団語り部から源根ため池の話を熱心に聞く子ども達

平成30年11月

公益財団法人 茄子川地域振興財団

理事長 勝 佳朗

お知らせ 財団のホームページを
開設しました。

<https://www.nasubigawazaidan.com>

Google やYahooで検索してください。 茄子川地域振興財団

坂本小学校4年生による 里山を知ろう 学習会

里山を知り、そこから森林の大切さや重要性を学んで、地域を知り、郷土を愛してもらおう体験学習会(源根の森社会見学)が行われました。

保古山の展望台から郷里の街を見下ろす子ども達。眼下に広がる坂本の全景に、子ども達は目を輝かせ感動の声を発していました。

学校の先生からスケジュールの説明を受け、今日の里山観察から第五感、第六感を使って里山を観察してみようとの指導を受けて出発しました。

子ども達は、ポイント毎に財団の人から説明を受け熱心にメモを取り、生まれ育ったふるさとを知り、里山が地域の生活やさまざまな生き物とともにあることを学びながら、これを大切に守り、引き継いで行くことの重要性を体験学習から学んでくれたことに、公益財団法人茄子川地域振興財団の役割の一端が果たされたところです。

恵那農林事務所の小島課長さんの協力もあり、治山の話に子ども達は耳を傾けていました。

坂本小学校 源根の森 社会見学の様子と第2展望台からの絶景



平成30年度 里山活用事業の紹介

子どもや親子などを対象とした里山の自然体験の学習会や健康づくりウォーキングを開催しました。

第5回 森のめぐみ塾開催

(7月28日)

里山の木の実で、“まきまきペンダント”や“芋虫ゴロゴロ”を親子で楽しく作りました。

指導員：自然体験工房「栗くり工房」 栗谷征二氏



まきまきペンダント



芋虫ゴロゴロ

ふるさとの里山、自然のお話、工作のお話。
里山に自生している木の実などを使って簡単な作品を作りました。

第6回 健康ウォーキング大会開催

源根の森(11月10日)



第6回目の大会を源根の森ウォーキングコースで開き、100名近くの皆さんが一日を楽しみました。

坂本地域の航空写真寄贈

坂本小学校の児童に、航空写真で坂本地域の全景を一目で理解してもらい、リニア中央新幹線駅、リニア車輛基地、濃飛横断自動車道の建設により、この地域がどう発展していくのか、その夢と創造に社会学習教室の中で活用してほしいと思います。

航空写真は株式会社トライの協力を得て作成し、当財団とともに両方で寄贈しました。



右から2人目が、安藤坂本小学校長

中津川西部テクノパーク整備事業

茄子川地域振興財団の設立目的は、地域の振興発展と地域づくりであります。

平成25年12月2日中津川市と協定締結した「リニアまちづくり開発協定」に基づき、財団の保有する土地の有効活用を図るため、中津川市の整備計画による工場用地建設事業を進めるものです。

この事業は、今後益々加速される少子高齢化社会の中にあって、小都市の中津川市が、いかに若者にとって魅力ある街となるべきか。若者が地元に着し、安心して暮らせるための施策を具体的に創出するためのものです。

そのためには、働く場所、住む場所が必要であり、その基盤となるものが企業誘致です。

この整備計画の『誘致を目指す企業像』

- 市の中核となり、雇用と定住化に資する企業
- 地域の文化、習慣を尊重し、地域と共存できる企業
- 地域の環境と自然を守り、地域の環境に調和した企業

この用地は、財団の所有する土地と個人所有土地で茄子川字西通・字二ツ岩で計画区域面積は約30.7haとされています。

スケジュール（予定）は用地買収：2019年頃～
造成工事：2023年4月頃～
分譲開始：2025年4月頃～



この事業は、リニア中央新幹線の開業に伴い、リニア車輛基地関連の企業そして企業の本社、研究開発企業など、今まで中津川市になかった企業、国内外から人が集まる先端医療機関や研修、会議施設等様々な分野で茄子川地域の未来発展に大きな夢と希望を与えてくれるものと考えます。

里山の植物 シリーズ No.8

里山「源根の森」にある、植物をご紹介します。

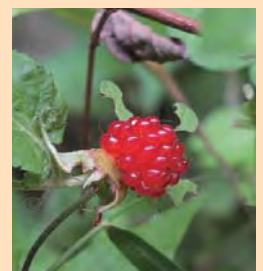


ニガイチゴ（苦苺）（バラ科キイチゴ属）

別名ゴガツイチゴ。

ニガイチゴは苦苺の意味で、苺にニガ味があることから名前がついた。

林道沿いなどで、山野の林縁や日当たりの良い荒地に自生している。葉は互生し、葉身は広卵形で基部は心形、先は鈍頭または円頭、3裂するものが多いが、裂けないものが混ざる。縁には細かい鋸歯がある。



『里山の植物』は毎回シリーズでご紹介します。